

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成27年4月23日 (2015.4.23)

【公開番号】特開2014-207019(P2014-207019A)

【公開日】平成26年10月30日 (2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-060

【出願番号】特願2014-149922(P2014-149922)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/22 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/22 5 1 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月9日 (2015.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の文字列で構成されるデータである入力候補データと、前記入力候補データを構成する複数の文字列を当該文字列ごとに区切るための区切り情報とを記憶する記憶手段から情報を取得可能な情報処理装置であって、

前記記憶手段に記憶された入力候補データを表示する表示手段と、

前記表示手段で表示された入力候補データに対する第 1 の削除指示または第 2 の削除指示を受け付ける削除指示受付手段と、

前記削除指示受付手段で第 1 の削除指示を受け付けた場合には、前記記憶手段に記憶された区切り情報に基づいて、前記表示手段で表示された入力候補データを前記文字列単位で削除し、前記削除指示受付手段で第 2 の削除指示を受け付けた場合には、前記表示手段で表示された入力候補データを 1 文字単位で削除する削除手段と

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記情報処理装置は、

前記削除指示受付手段で受け付けた第 1 の削除指示に応じて、前記入力候補データを構成する前記文字列のうち、削除指示がなされた前記文字列を特定する特定手段

を更に備え、

前記削除手段は、前記削除指示受付手段で第 1 の削除指示を受け付けた場合には、前記記憶手段に記憶された区切り情報に基づいて、前記表示手段で表示された入力候補データを構成する前記文字列のうち、前記特定手段で特定された文字列以降の前記文字列を削除することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記特定手段は、前記入力候補データに対するカーソルの位置に従って、削除指示がなされた前記文字列を特定することを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記表示手段は、前記入力候補データが表示される入力フォームを、当該入力候補データを構成する前記文字列の表示される位置が識別可能となるように表示することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

複数の文字列で構成されるデータである入力候補データと、前記入力候補データを構成する複数の文字列を当該文字列ごとに区切るための区切り情報とを記憶する記憶手段から情報を取得可能な情報処理装置の制御方法であって、

前記情報処理装置の表示手段が、前記記憶手段に記憶された入力候補データを表示する表示ステップと、

前記情報処理装置の削除指示受付手段が、前記表示ステップで表示された入力候補データに対する第１の削除指示または第２の削除指示を受け付ける削除指示受付ステップと、

前記情報処理装置の削除手段が、前記削除指示受付ステップで第１の削除指示を受け付けた場合には、前記記憶手段に記憶された区切り情報に基づいて、前記表示ステップで表示された入力候補データを前記文字列単位で削除し、前記削除指示受付ステップで第２の削除指示を受け付けた場合には、前記表示ステップで表示された入力候補データを１文字単位で削除する削除ステップと

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項６】

複数の文字列で構成されるデータである入力候補データと、前記入力候補データを構成する複数の文字列を当該文字列ごとに区切るための区切り情報とを記憶する記憶手段から情報を取得可能な情報処理装置の制御方法を実行可能なプログラムであって、

前記情報処理装置を、

前記記憶手段に記憶された入力候補データを表示する表示手段と、

前記表示手段で表示された入力候補データに対する第１の削除指示または第２の削除指示を受け付ける削除指示受付手段と、

前記削除指示受付手段で第１の削除指示を受け付けた場合には、前記記憶手段に記憶された区切り情報に基づいて、前記表示手段で表示された入力候補データを前記文字列単位で削除し、前記削除指示受付手段で第２の削除指示を受け付けた場合には、前記表示手段で表示された入力候補データを１文字単位で削除する削除手段

として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、複数の文字列で構成されるデータである入力候補データをユーザの望む形態で削除することの可能な情報処理装置、その制御方法、及びプログラムに関する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明の目的は、複数の文字列で構成されるデータである入力候補データをユーザの望む形態で削除することの可能な仕組みを提供することである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 0 】

上記の目的を達成するために、本発明の情報処理装置は、複数の文字列で構成されるデータである入力候補データと、前記入力候補データを構成する複数の文字列を当該文字列ごとに区切るための区切り情報とを記憶する記憶手段から情報を取得可能な情報処理装置であって、前記記憶手段に記憶された入力候補データを表示する表示手段と、前記表示手段で表示された入力候補データに対する第 1 の削除指示または第 2 の削除指示を受け付ける削除指示受付手段と、前記削除指示受付手段で第 1 の削除指示を受け付けた場合には、前記記憶手段に記憶された区切り情報に基づいて、前記表示手段で表示された入力候補データを前記文字列単位で削除し、前記削除指示受付手段で第 2 の削除指示を受け付けた場合には、前記表示手段で表示された入力候補データを 1 文字単位で削除する削除手段とを備えることを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 1 1 】

本発明によれば、複数の文字列で構成されるデータである入力候補データをユーザの望む形態で削除することが可能となる。